



Title	文芸学研究 第14号 2009年度活動報告
Author(s)	
Citation	文芸学研究. 2010, 14, p. 153-154
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/46101
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

2009 年度活動報告

『文芸学研究』第 13 号合評会 2009 年 7 月 18 日 大阪大学

第 38 回研究発表会 2009 年 7 月 18 日 大阪大学

土田耕督 「更新される和歌の〈心〉——『愚問賢注』の本歌取り論を中心
に——」

第 39 回研究発表会 2009 年 9 月 19 日 神戸女学院大学

西井獎 「オウィディウス『名高き女たちの手紙』第 20 歌・第 21 歌における往復書簡の劇的アイロニー」

平田思 「ウォレス・スティーヴンズ研究——第二次大戦中、戦後のスティーヴンズの詩における芸術の自律と他律の緊張関係について」

吉村エリ 「瞳の力——ジョージ・エリオット『ジャネットの改悛』再考 カタリーナからジャネットへ」

第 40 回研究発表会 2009 年 11 月 21 日 神戸大学

町田理樹 「芸術と政治——三島由紀夫に関する一考察」

南出みゆき 「アカデミー・ジュリアン創立の経緯とその特徴」

『文芸学研究』第 14 号発行 3 月 31 日

『文芸学研究』投稿規定

1. 投稿資格

- ・本誌への投稿は、文芸学研究会（以下、「当研究会」）において、下記のいずれかに該当する者とする。
 - 1) 当研究会の通常会員
 - 2) 当研究会の学生会員
 - 3) その他、当研究会が投稿をとくに認めた者

2. 投稿の種類

- ・本誌への投稿は、未公刊の論文・書評・翻訳（以下、「論文等」）に限る。

3. 執筆要領

- ・論文等に用いる言語は次のいずれかの方式とする。
 - 1) 本文を日本語で書き、日本語以外で要旨を付す。
 - 2) 本文を日本語以外の言語で書き、日本語で要旨を付す。
- ・論文等の分量は本文、注、および図表・図版・譜例等も含め、和文の場合は400字詰め原稿用紙50枚程度、欧文の場合は7000ワード程度とする。
- ・要旨は、和文の場合は800字程度、欧文の場合は300ワード程度とする。
- ・執筆者は、原則としてその号の合評会に出席すること。

4. 論文等の提出

- ・原則として、以下の2点を揃えて提出のこと。
 - 1) MS-Wordまたはテキスト形式のファイルを記録したフロッピー・ディスクまたはCD-ROM。
 - 2) 上記データをプリント・アウトしたものを1部
- ・論文提出先：文芸学研究会編集事務局（大阪大学文芸学研究室内）
- ・論文およびフロッピー、CD-ROM等は原則として返却しない。

5. 投稿論文の採否および掲載号

- ・原稿は1名以上の査読委員により掲載の採否を決定する。
- ・掲載に当たっては、修正を求めることがある。
- ・大幅な修正が必要な場合は、次号以降に掲載をすることがある。
- ・掲載号および掲載の順序は、当研究会の編集委員会が決定する。

6. 校正

- ・著者校正は、初校および再校の2回とする。
- ・著者校正では、原則として印刷上の誤り以外の字句の修正や挿入を行えないものとする。

7. 投稿期限

- ・11月末日必着。